



できることから
はじめよう!
環境にいいこと
ひとつずつ

城陽エコパートナー通信

Vol.68

発行日：令和3年(2021年)1月13日
会員数：304人(令和2年12月31日現在)

編集・発行：城陽環境パートナーシップ会議
(事務局) Tel(56)4061 Fax (66)6828



新年あけましておめでとうございます

昨年は、新型コロナ感染症拡大防止に明け暮れた年となりました。新型コロナ感染症の健康被害に遭われた皆様、事業活動に影響を受けられた皆様には心よりお見舞い申し上げます。あわせて医療関係の皆様には、日々ご苦勞いただいていることに深く感謝申し上げます。穏やかな日常が早く戻ってくることを願っております。

城陽環境パートナーシップ会議も、感染防止の観点から活動の大幅な自粛を余儀なくされましたが、このような中においても第19回城陽市環境フォーラムは「環境を学ぼう」と題してインターネット配信(YouTube)で開催することができました。地球温暖化防止や生物多様性の保全をはじめとする環境問題の解決は、今や全世界の国々において持続可能な社会(SDGs)を築く上で重要な課題となっております。日本は皮肉にもコロナ禍で温室効果ガス(CO₂)の排出量は過去最低となりましたが、この状態でも政府が目指す2050年実質排出量ゼロには、まだ目処が立たず、更なる取り組みが求められています。

本年も城陽環境パートナーシップ会議は市、市民、市民団体、事業者の皆様とともに環境について「知る・学ぶ・気づく」を目指して、新たな形や方法を探りつつ活動を続けてまいります。

ご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

会長 大野 和宣



エコバッグを持とう! ~オリジナルエコバッグをつくりました~

日本は国民1人当たりのプラスチックの容器や包装のごみの量が世界2位。レジ袋も、国民1人が1日1枚は使っているといわれる使い捨てプラスチック大国です。プラスチックごみによる海の汚染が世界的に大きな問題となっている今、プラスチックごみを減らすことを目的にレジ袋が有料化になりました。レジ袋有料化をきっかけに、ムダなプラスチックを使用しないという意識を持ち、利用を少しずつ減らしていきましょう。



大変!エサと勘違い?
プラスチックごみをたべて
しまう海の生き物たち。



■プラスチックごみを減らすために私たちができることは?

3Rを実践すること! 3Rは、プラスチックごみを出さないための身近にできる行動です。できることから始めよう!

■団体オリジナルエコバッグを作りました。

カエルのイラストは富士鷹なすびさんに描いていただきました。できることから始める環境活動。エコバッグ持参から始めてみましょう。このエコバッグは、市内小学生(4・5年生)に配布しました。また、当会議の開催イベントにご参加された方に配布しています。



クルクルたたためてコンパクトに



意外にたくさん入ります!



市内小学生4・5年生に配布しました。

第19回城陽市環境フォーラムを開催しました!

・11月21日(土)13:30
・城陽市福祉センター ホール

今回の環境フォーラムは、「環境を学ぼう!」をテーマに、新型コロナウイルス感染症の拡大防止により、生活様式も少し変わってきた今の環境について、生物たちやウイルスから環境を学ぶという、お話をメインとした講演会を開催しました。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、来場者の入場制限をしたため1人でも多くの方に聞いてほしい!との想いで、YouTube 配信をおこないました。

第1部講演会

講師 脇坂 英弥氏(兵庫県立人と自然の博物館地域研究員/博士(環境人間学))

テーマ「コウノトリが教えてくれた城陽市の生物多様性」



司会：米田 亜由実氏



講師：脇坂 英弥氏

豊岡市が取り組むコウノトリの保全活動や、全国のコウノトリの繁殖地の特徴を紹介。2019 年末に飛来したコウノトリ・ひかりちゃんの滞在記録から垣間見えた「城陽市の生物多様性」についてのお話をいただきました。飛来してきたコウノトリは、外来生物を食べていた。コウノトリを見守る市民の方のマナーが大変よかった。また、城陽の豊かな自然環境について、ケリ・タマシギ・ウグイス・フクロウ・ミゾゴイ・チョウゲンボウのお話をされ、最後に、城陽市には魅力いっぱいの生き物であふれている、ただ、私たちがそれに気づいていないだけなのです。改めて城陽市の自然に目を向けてみませんか。と締めくくられました。

第2部講演会

講師 小林 駿氏(城陽環境パートナーシップ会議運営委員/工学博士)

テーマ「ウイルスと地球の自然環境」



講師：小林 駿氏

新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって人間の活動が止まることで、大気汚染等の地球環境が改善され、見えてきたものがある。ウイルスはどこで発生し人間界にあらわれて何をしようとしているのか。過去に流行した感染症から学び、ウイズコロナを模索するお話をいただきました。感染症は環境問題であり「人は自然にかなわない」、コロナ禍は現代文明が方向転換する分岐点である。と締めくくられ終了しました。

できることから始めよう 冬の省エネ対策



エネルギーの消費が多くなる冬ですが、実は省エネがしやすい季節でもあります。少しの工夫で、暖房効率を上げることができます。その結果、ホカホカと心地よくなるのはもちろん、電気代をカットすることが可能に…。今すぐできる簡単なことから実践してみたいはいかがでしょうか。

■ファンヒーターは窓際に置く!

冷気がたまる窓際に置くと足元が冷えないのです!

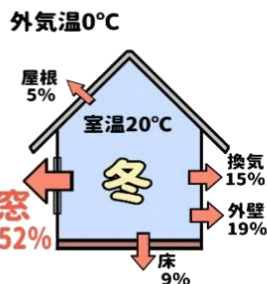
ファンヒーターを窓から離れた場所に置くと、天井から下りてきた暖気が冷たい窓で冷やされ、そのまま足元に届いてしまいます。これを避けるためには、ファンヒーターを窓際に設置しましょう。窓の冷気を暖めてから循環させることができます。



■窓を制す者は、節電を制す!

窓の断熱対策を工夫すればエアコンの使用を控えめにしても快適に過ごせます。「窓を制す者は、節電を制す」と言っても過言ではありません。窓の断熱の方法はいろいろありますが、簡単にできるのは断熱ボードの設置、断熱シートを貼る、カーテンを厚いものに替えるなどです。

窓が一番大切
だったんだ...



冬芽をさがそう

文：山村委員

葉を落とした落葉樹は一見するとさみしげな枯れ木ようですが、よく見ると春に向けて万全の体制で冬を耐えています。冬季に落葉樹の命をととてもよく実感できるのが「冬芽」です。

上着をしっかりと着て、虫眼鏡片手にさあ出かけてみましょう。私たちの先祖にとって冬芽の観察は、冬季に樹種を見分け薪などの生活資材を手に入れるための大切な手段でもあったことでしょう。そんなことも考えながら、いろんな「冬芽」と楽しい形「葉痕」を観察してみましょう。

冬芽は防寒対策 —冬の寒さを乗りきるいろいろな工夫があります—

葉や花になる芽を冬の寒さや乾燥(かんそう)から守るためにいろいろなタイプのカバーをつけています。

<p>ウロコでおおう 何枚ものウロコのような皮でつつまれている。</p>  <p>コナラ ツブツブもよもの殻斗をしたドングリをつける木です。</p>	<p>キヤッフをかぶる 1枚から数枚の大きな皮につつまれる。</p>  <p>ネコヤナギ 河原によく生えています。</p>	<p>毛皮でつつむ 暖かそうな毛皮でつつむ。</p>  <p>モクレン 庭木に多いです。</p>	<p>ベタベタのカバー ヤニやロウをつける。</p>  <p>トチノキ 山林の川筋に多い木です。一か月以上もかけてあく抜きをして作ったのが栃餅です。</p>	<p>もぐって過ごす 枝の中、葉のつけ根などにうもれてかくれる。</p>  <p>ネムノキ 空き地や河原によく生えています。</p>
--	---	--	---	--

冬芽と葉痕のゆかいなコンビ —表情豊かな冬の顔—

枝に残る葉の落ちたあとを「葉痕」といいます。葉とつながっていた維管束の跡があり、これが動物の顔のように見えるものがあります。なんの顔に見えますか？

<p>クス</p>  <p>どこから見ても人の顔。いろいろな表情があります。</p>	<p>オニグルミ</p>  <p>川沿いに多い木。羊さんそっくりです。</p>	<p>ポプラ</p>  <p>長卵形の尖がり帽子で、葉痕は、おさるさんの顔です。</p>	<p>ソメイヨシノ</p>  <p>どこにでも植えられていますので、虫メガネで観察してみてください。</p>
--	---	---	--

イベントのご案内

自然観察会を開催します!お気軽にご参加ください。

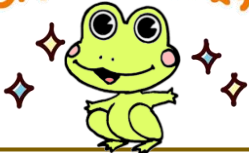
- 開催日：2月14日(日)
- 集合場所・時間：北部コミセン 9時集合 12時解散
- 観察場所：古川流域
- 内容：古川流域での野鳥観察会と美化活動
※雨天中止(判断しかねるときは、当日8時30分~8時45分に問合せ)
- 対象：市内在住、在学、在勤の人(小学生以下は保護者同伴)
- 参加費：無料
- 講師：脇坂英弥氏(環境生物研究会)
- 持ち物：水筒・タオル・帽子・城陽生きものハンドブック(お持ちの方)
※当日はマスクを着用し、動きやすい服装で防寒対策をした上でご参加ください
- 申・問：城陽環境パートナーシップ会議へ直接か電話(56-4061)



前回の
観察会
の様子



ありがとうございます



2020年12月16日に、会員の杉本年雄様より、
84円切手を81枚ご寄付いただきました。
本当にありがとうございました!



株式会社 城南工建

〒610-0113 京都府城陽市中芦原27番地の1
TEL 0774-53-3939 FAX 0774-55-1172

日本観光ゴルフ株式会社
城陽カントリー倶楽部

〒610-0121 京都府城陽市寺田奥山1-46

次の団体・個人から賛助会費をいただきました。誠にありがとうございました。

イズミヤ(株)大久保店、近畿砂利協同組合、京都城陽ロータリークラブ、サントリープロダクツ(株)宇治川工場、(株)城南工建、城陽市、城陽商工会議所、城陽金融会、星和電機(株)、(株)玉井開発、長池工業(株)、日本観光ゴルフ(株)城陽カントリー倶楽部、東城陽ゴルフ倶楽部、(株)平和堂アル・プラザ城陽、(株)ミズホ、森澤博光

※令和2年12月末現在(五十音順・敬称略)